

東京 IPO 特別コラム

2016年1月28日 Vol.14

「はてな」から始まる2016年IPO相場

2015年12月のIPO市場は19社のIPO銘柄の登場でラッシュとなりましたが例年通り1月はお休み状態。この間に全体相場は大きな下落に見舞われ、良いことなしの新年となってしまった感がありますが、新規に投資を始める投資家にとってはまたとないチャンスなのかも知れません。全体相場の調整に比べ、新興市場の銘柄、とりわけ最近のIPO銘柄の下落は大きく、成長指向があってもなかなか評価が高まらない状況が見られます。

そうした市場環境悪化の中、2月24日から始まる2016年のIPO相場は、はてな(3930)からになります。首をかしげたくなるような名前の会社ですが、社名の由来など気になります。

代表者のメッセージを見ると2001年に京都で創業した「はてな」という検索サイトの運営企業ということが読み取れますが、そこに月間4000万人という人が訪れているというからそれこそ「はてな」、何でそんなに訪れるのだろうと疑問が浮かんでしまいます。

肝心の業績は7月決算で第1四半期の進捗率が高いため計画の達成度は高く、むしろ大幅な上方修正の可能性を秘めていると見られます。設立からの社歴は15年とネット系にしては比較的長く、IPOのタイミングについては遅めの印象です。同社がどのような企業なのか、どのような成長性を秘めているのかは改めて本コラムでご報告したいと思います。2016年の最初の上場企業だけに注目が寄せられます。

昨年最初のIPO銘柄はKeePer 技研(6036)で上場直後はやや停滞しましたが、2分割を実施した年後半から人気が出た銘柄で比較的高い成果が上げられたものと見られます。初物は買いと行くか、じっくり待って内容吟味してから行くかは皆さんの自由です。上場後の運用成果はともかく、待ちに待った2016年IPO相場の開始で2015年にIPOをした銘柄群に改めて関心が向かうのか大いに期待されます。はてなに続くIPO企業もそろそろ発表されるものと見られますが、株式市場を活性化するユニークな企業の登場を待ちたいと思います。

(東京IPOコラムニスト 松尾範久)